

令和 3 年 9 月 30 日

**広島大学公開講座 2021（後期）の募集を開始しました
～ 「ヒロシマ」を考える対面の講座も開講 ～**

広島大学公開講座 2021（後期）の募集を開始しました。後期は、対面形式とウェブ会議システムを用いたオンライン形式の 2 つのタイプの講座を開講します。

キャンパスで受講する講座と、パソコンやスマホから受講できる講座がありますので、皆様ぜひご参加ください。

なお、対面講座は、郵送とメールにて申込を募集します。また、オンライン講座は、申込フォームからお申し込みください。

【申込み URL】

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/kokaikoza>

項番	講座名	募集定員	授業開始日	申込期限	形式	場所
1	SDGs を睨んだ食料生産研究の最前線	50	10/16 (土)	10/8 (金)	対面	東広島キャンパス 工学部 B4 棟 116 号室
2	いろいろな両生類のおもしろくて多様な研究とその最前線	10	10/30 (土)	10/8 (金)	対面	東広島キャンパス 両生類研究センター
3	危機の時代の政治	100	11/6 (土)	10/30 (土)	オンライン	
4	被爆 76 年の「ヒロシマ」を考える	75	11/17 (水)	10/8 (金)	対面	広島市南区民文化センター
5	東広島日本酒学	300	11/20 (土)	11/13 (土)	オンライン	
6	フィールドから読み解く地域の特徴と文化	300	11/27 (土)	11/20 (土)	オンライン	

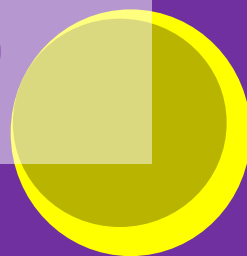
7	広島とヒロシマ	80	11/27 (土)	10/8 (金)	対面	東千田キャンパス 東千田未来創生センター M304
8	ひろしまバイオデザイン (無料)	100	1/14 (金)	1/7 (金)	オンライン	
9	ひろしまバイオデザイン (有料)	10	1/31 (月)	1/17 (月)	オンライン	

※ 対面形式の講座は、定員に達していなければ 10月8日以降も申し込みが可能です。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室
公開講座担当
TEL:082-424-5691

広島大学
公開講座
2021
(後期)



広島大学 学術・社会連携室 地域連携部門

目次

2021年度後期 申込・受講について	1
1. SDGs を睨んだ食料生産研究の最前線	7
10/16 (土) 13:00~14:00 14:15~15:15	
10/23 (土) 13:00~14:00 14:15~15:15	
10/30 (土) 13:00~14:00 14:15~15:15	
2. いろいろな両生類のおもしろくて多様な研究とその最前線	9
10/30 (土) 13:30~14:05 14:10~14:45 14:50~15:25	
15:30~16:05 16:10~16:45 16:45~17:00	
3. 危機の時代の政治	11
11/6 (土) 13:00~14:20 14:30~15:50	
11/13 (土) 13:00~14:20	
11/27 (土) 13:00~14:20 14:30~15:50	
12/4 (土) 13:00~14:20 14:30~15:50	
12/11 (土) 13:00~14:20	
4. 被爆76年の「ヒロシマ」を考える	15
11/17、11/24、12/1 (毎週水) 18:00~19:30	
5. 東広島日本酒学	17
11/20 (土) 18:00~19:30	
11/27、12/4 (土) 10:00~11:30	
6. フィールドから読み解く地域の特徴と文化	18
11/27、12/4、12/11 (毎週土) 13:00~14:30	
7. 広島とヒロシマ	19
11/27 (土) 12:30~14:00 14:15~15:45 16:00~17:30	
12/11 (土) 12:30~14:00 14:15~15:45 16:00~17:30	
8. ひろしまバイオデザイン	21
1/14、1/28 (毎週金) 15:00~16:30	
9. 【有料講座】ひろしまバイオデザイン	22
1/31 (月) 13:00~17:00	

2021年度後期 申込・受講について

※今回（2021年度）から手続き方法が大幅に変わります。

項番	講座名	募集定員	授業開始日	申込期限	形式	場所
1	SDGsを睨んだ食料生産研究の最前線	50	10/16 (土)	10/8 (金)	対面	東広島キャンパス工学部 B4棟116号室
2	いろいろな両生類のおもしろくて多様な研究とその最前線	10	10/30 (土)	10/8 (金)	対面	東広島キャンパス 両生類研究センター
3	危機の時代の政治	100	11/6 (土)	10/29 (金)	オンライン	
4	被爆76年の「ヒロシマ」を考える	75	11/17 (水)	10/8 (金)	対面	広島市南区民文化センター
5	東広島日本酒学	300	11/20 (土)	11/12 (金)	オンライン	
6	フィールドから読み解く地域の特徴と文化	100	11/27 (土)	11/19 (金)	オンライン	
7	広島とヒロシマ	80	11/27 (土)	10/8 (金)	対面	東千田キャンパス 東千田未来創生センター M304
8	ひろしまバイオデザイン	100	1/14 (金)	1/7 (金)	オンライン	
9	(有料講座) ひろしまバイオデザイン	10	1/31 (月)	1/17 (月)	オンライン	

※【対面講座】申込期限に定員に達していない講座は、引き続き先着順で申し込みを受け付けます。詳細はP 5をご覧ください。

1. オンライン講座の申込の場合

(1) 広島大学公開講座のページから申込フォームを開いてください。

【受講にあたっての注意事項】

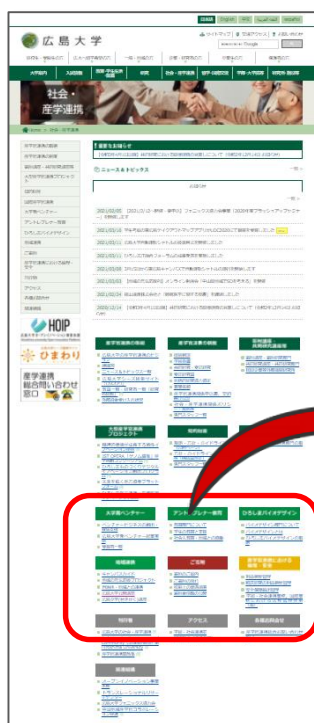
- ・ 受講申込期限
 - 無料講座：各講座の第1回目の授業開始日の1週間前
 - 有料講座：各講座の第1回目の授業開始日の2週間前
- ・ 申込期限を越えた講座や定員に達した講座は、申込フォームに表示されていません。
- ・ オンライン形式の講座は、修了証書は交付しません。

【申込フォームのアクセス方法】

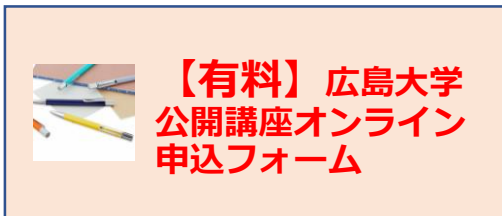
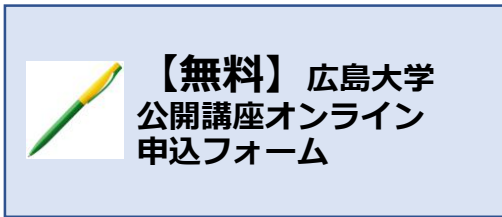
①広島大学公式ウェブサイト <https://www.hiroshima-u.ac.jp> を開いて、「社会・産学連携」をクリックしてください。



②「社会・産学連携」のページのメニューから「地域連携」の「広島大学公開講座」をクリックしてください。



③「広島大学公開講座」のページにある申込フォームのバナーをクリックすると、申込フォームが開きます。



(2) オンライン申込フォームに必要事項を入力し、送信ボタンをクリックしてください。

【申込手続きの注意事項】

- ・送信ボタンをクリックすると、しばらくして登録したメールアドレスに、申込内容が送られてきます。
もし、送られてこない場合は、迷惑メールのフォルダに届いている、またはメールアドレスの誤入力などの可能性があります。
まずは、迷惑メールのフォルダなどを確認してください。
それでもメールを受信していない場合は、メールアドレスの誤入力の可能性がありますので、再度申込をお願いします。
- ・送られてきたメールは、申込の控えとなりますので、講座終了まで大切に保管してください。
- ・有料講座については、申込期限終了後に、受講不可及び、受講料振込手続きの説明を記載したメールをお送りします。

※受講料振込手続きのメールは、お申込みいただいた講座ごとにお送りしますので、複数の有料講座を申し込まれた方は、合計金額を一括で振込をお願いします。（受講する講座は、申込確認メールなどでご確認ください。）

(3) 授業開始の前日までに、授業担当者から、受講に必要なウェブ会議（Zoomなど）のURLが届きます。

(4) 当日は、メールに書いてあるURLからウェブ会議（Zoomなど）を開いて、受講してください。

※スマートフォン、パソコンなどの操作に関するお問い合わせには、対応できかねますので、ご了承ください。

2. 対面講座の郵送又はメール申込の場合

対面講座申込は郵送及びメールで受け付けます。申込書は以下のサイトからダウンロードできます。(https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/kokaikoza/how_to2021_taimen)

(1) 【郵送の場合】

広島大学 学術・社会連携室 公開講座担当 あてに下記の①②を郵送してください。

①申込書(太枠内(黄色部分)に記入)

②返信用封筒1枚(長形3号12cm×23.5cm、住所・氏名・郵便番号を記入し、84円切手を添付)

一次締切日 2021年10月8日(金) 消印有効

- 一次締切時点で定員を超えた講座は、抽選を行います。先着順ではありません。
- 一次締切時点で定員に達していない講座は、引き続き先着順で申込を受け付けます。定員に達した日に多数の申込書が届いた場合は、その日の到着分で抽選を行います。
- 申込状況は、一次締切日以降、広島大学公開講座のWebサイトに掲載致します。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/kokaikoza>

(2) 【メールの場合】

申込書(Wordファイル)に必要事項を記入の上、広島大学公開講座担当のメール(chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp)に送ってください。

(3) 受講可否のお知らせ

一次締切の結果は、10月上旬に申込者全員へ受講可否を記載した受講票(下図参照)をお送りします。

一次締切以降の受講の可否は、随時申込時と同じ方法(郵送又はメール)にてお知らせいたします。

なお、有料講座の場合は、受講料振込手続きのご案内を一緒にお送りします。

広島大学公開講座 2021 (後期) 申込書 (対面講座)		受付番号	100
↑太枠内にご記入ください。			
○印	講座番号・講座名	講座別受講者番号	
<input type="radio"/>	1. SDGsを視んだ食料生産研究の最前線	5	
	2. いろいろな再生類のおもしろくて多様な研究とその最前線		
	4. 被ばく76年の「ヒロシマ」を考える		
<input type="radio"/>	7. 広島とヒロシマ	✕	

→希望講座に○をしてお送り下さい。

ふりがな	性別	年齢
氏名	男・女	歳
ご連絡先	〒 - -	
	電話番号 - -	E-mail

※お申込みに伴う個人情報は、講座の出席確認、緊急連絡、大学から公開講座に関する案内及び調査統計に利用し、その他の目的には利用しません。

講座別受講者番号の付してある講座の受講者として認めます。

2021年 10月 5日 広島大学

受付済 ← 受付済
印が押してあるものが正式な受講票です。

受講可の講座について

お送りした受講票を、講座当日に受付へご提示ください。

3. 受講のキャンセル

下記の申込先へメールまたはお電話にてご連絡ください。有料講座で入金済の場合は、講座初日の前日（前日が休校日の場合は直前の業務日）の17時までにご連絡いただいた場合に限り、受講料を振込により返還いたします。ただし、振込手数料は申込者負担となります。

4. 不測の事態が生じた場合

講師の急病等不測の事態が生じた場合、講師・内容の変更、日程の変更（延期）、開催中止とする場合があります。

また、自然災害による交通機関の混乱が予測される場合、講座を中止または延期することがあります。この場合、広島大学公開講座のWebサイトに「休校情報」を掲載するとともに、受講者の方へ個別に電話またはメールにてご連絡いたします。なお、複数日の講座の場合は、全日程を中止とする場合があります。有料講座が全回中止となった場合は、受講料を振込により返還いたします。

5. 注意事項

- 講義室変更、講師交代などがありましたら、広島大学公開講座のWebサイトに随時掲載します。
- 講座により、保険料等実費のご負担をお願いする事があります。
- 講座内容に関する問い合わせは、各講座ページ最下段の「講座内容に関する問い合わせ」へ（平日9:00～16:30）、申込に関するお問い合わせは、学術・社会連携室 公開講座担当へメールまたはお電話にてお願い致します。
- お申込みに伴う個人情報、講座の出席確認、緊急時の連絡、大学からの公開講座に関する案内等の送付及び調査統計に利用し、その他の目的には利用しません。

申込先

広島大学 学術・社会連携室 公開講座担当

〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2 TEL 082-424-5691

E-mail chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp

Webサイト <https://www.Hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/kokaikoza>



1 SDGs を睨んだ食料生産研究の最前線

概要

最近よく耳にする Sustainable Development Goals (SDGs : 持続可能な開発目標) は、人類が未永く地球で生活していくために、世界一丸となって達成していかなければならない課題です。生物生産学部・応用動植物科学プログラムでも「持続可能な発展を導く科学」の創生を目指して研究・教育に取り組んでいます。本講座では、我々の研究対象である家畜・植物・環境をキーワードに、SDGs (特に2. 飢餓をゼロに) の達成に挑戦している最先端の食料生産研究について、現状を踏まえて分かり易く紹介します。

会場

【対面】 広島大学東広島キャンパス 工学部B4棟 116号室

時間

- ① 13:00～14:00
- ② 14:15～15:15

定員 対象

50名 どなたでも

受講料

無料

講師

生物生産学部 助教 梅原 崇

第1回

10/16 (土)

① 13:00～14:00

オス／メス産み分けの新技术

オスとメスを産み分ける。オス／メスがそれぞれもつ『強み』を上手に選んで、食料生産を効率的にしていくために必要な(望まれている)技術です。このオス／メス産み分け技術の現在と最新技術、そして未来について紹介します。

講師

生物生産学部 教授 小櫃剛人

第2回

10/16 (土)

② 14:15～15:15

家畜生産に由来する温室効果ガス削減をめざして

ウシの胃内で生じてゲップとして放出されるメタンガスが地球温暖化に関与しているといわれています。2050年のカーボンニュートラルに向けた、家畜からの温室効果ガス排出抑制への挑戦をご紹介します。

講師 生物生産学部 教授 杉野利久

第3回
10/23 (土)
①13:00~14:00

乳牛も人も快適なスマート酪農最前線

酪農業は4K（きつい、危険、汚い、臭い）？「そんな時代もあったね」と言われる時代になりつつあります。搾乳ロボットを始めとした省力化機器、それは人のためだけでなく動物の福祉も考えられています。そんなスマート酪農の最前線をご紹介します。

講師 生物生産学部 助教 中村隼明

第4回
10/23 (土)
②14:15~15:15

トビがタカを産む

SFでもあるまいし、「トビがタカを産む」なんてあり得ない！と思った皆さん、実はバイオテクノロジーの発展によって「トビがタカを産む」日は近づいています。「トビがタカを産む」技術を利用した新たなニワトリの保存法について紹介します。

講師 生物生産学部 准教授 上田晃弘

第5回
10/30 (土)
①13:00~14:00

しょっぱい水田で稲作したい

農耕地に塩分が蓄積して発生する塩害は世界の農作物生産をおびやかしています。塩害は古代メソポタミア文明衰退の一因となつて以来、人類がいまだ解決できない農業問題の一つです。そんな塩害問題に立ち向かう試みについて紹介します。

講師 生物生産学部 准教授 長岡俊徳

第6回
10/30 (土)
②14:15~15:15

持続可能な農業のための土壌管理

土壌は、養水分の供給や養分循環などを通して農業を支える生産基盤です。土壌が果たしている役割とは何か、また、持続可能な農業を考える上で、土壌をいかに有効かつ適切に活用するかということについて、地球温暖化、資源問題などと絡めて紹介します。

講座内容に関する
お問い合わせ先

生物生産学部 担当 都築政起

電話:082-424-7950 メール: tsudzuki@hiroshima-u.ac.jp

2

いろいろな両生類のおもしろくて 多様な研究とその最前線

概要

広島大学両生類研究センター（両生研）は、多様な両生類を用いて様々な分野の研究ができる世界でもとても珍しい施設です。本講座では、このセンターで飼育している多種の両生類とその飼育設備を見学してもらい、両生類の多様性を実感してもらいます。そしてセンターで行われている各分野の研究最前線を分かりやすく解説します。

会場

【対面】広島大学 東広島キャンパス 両生類研究センター

時間

13:30～17:00

定員

10名

対象

どなたでも受講出来ますが、内容は高校生向けレベルです。

（高校生は「高大連携講座」で受け付けます。学校を通してお申込みください。）

受講料

無料

講師

両生研 助教 田澤一郎

第1回

10/30（土）

13:30～14:05

両生類の進化と多様性（35分間）

両生類がどのような動物であるかを形態とその進化を中心に学びます。

第2回

10/30（土）

14:10～14:45

多様な両生類を見てみよう（35分間）

飼育現場を回ってもらい、生きた動物を見てもらいます。

講師

両生研 教授 鈴木誠

第3回

10/30（土）

14:50～15:25

両生類を用いた発生研究の新しい展開（35分間）

胚発生学研究の最前線とその医療への応用について学びます。

講 師 両生研 助教 **中島圭介**

第4回
10/30 (土)
15:30~16:05

両生類を用いたゲノム編集技術 (35分間)

近年開発されたゲノム編集技術が両生類を用いた基礎研究でどのように利用されているかを学びます。

講 師 両生研 助教 **井川武**

第5回
10/30 (土)
16:10~16:45

温泉ガエルから見た生物の適応進化 (35分間)

極限環境に生息するリュウキュウカジカガエルに先端技術でアプローチする方法について学びます。

講 師 両生研 助教 **田澤一郎**

第6回
10/30 (土)
16:45~17:00

フリーディスカッション (15分)

5限目終了までにできなかった質問をしたり、自由に授業内容にコメントしたりする時間です。

講座内容に関する
お問い合わせ先

両生類研究センター公開講座「いろいろな両生類のおもしろくて多様な研究とその最前線」

担当：田澤一郎（助教・広島大学両生類研究センター）

電話:082-424-4617 メール: itazawa@hiroshima-u.ac.jp

3 危機の時代の政治

概要

政治とは、なにもない時には決まった手順を繰り返すだけであり、これまでと同じことの繰り返しです。しかし、なにかあった時＝危機においてはそうではなくなります。リスクを冒して、新しい決断をしなければならず、人命を含むコストを払わなければならないこともあります。政治が必要なのは、このような時のためなのです。この講座では、さまざまな危機において、政治がどう動いたのか、問題の解決にどう立ち向かったのかについて考えます。できるだけ、参加者のみなさんと対話の場を設けたいと思います。

会場

オンライン (Zoom)

時間

① 13:00～14:20 ② 14:30～15:50

定員

100名

対象

どなたでも

受講料

無料

講師

人間社会科学研究科 助教 **相川裕亮**

第1回

11/6 (土)

① 13:00～14:20

危機の時代と信教の自由

アメリカ合衆国は歴史上いくつもの「危機」に見舞われてきましたが、その都度、連邦政府は強力な立法上の、あるいは執行上の権限を用いて「危機」に対応してきました。しかし、ときに保守的な人々は連邦政府の対応が人々の私権を過度に制限するものであると批判します。この回では戦後アメリカにおける「大きな政府」論への批判を、保守的なキリスト教徒たちに注目して紹介したいと思います。

講 師

人間社会科学研究科 准教授 荒木隆人

第2回

11/6 (土)

② 14:30~15:50

カナダ・ケベック州における新しい社会統合理念 — 間文化主義について

近年、アメリカ合衆国やヨーロッパ諸国では、移民・難民の受け入れが社会統合の「危機」をもたらすものであるとの主張が多く聞かれるようになってきました。それゆえ、受け入れ国の住民とは異なる文化や価値観をもつ移民や難民との共生を可能にする社会統合の理念や政策についての探求は喫緊の課題となっています。この回では、積極的な移民受け入れ国として知られるカナダのケベック州において近年注目されている間文化主義

(Interculturalism) という新しい社会統合理念・政策について紹介したいと思います。移民国家カナダで生じている新しい社会統合理念・政策について考えることは、外国人労働者の受け入れ拡大が進む我が国の社会統合の在り方について考える上でも大いに参考になるとと思います。

講 師

人間社会科学研究科 准教授 長久明日香

第3回

11/13 (土)

① 13:00~14:20

バイデン政権下におけるリベラル国際主義の行方

戦後の国際制度の中核的概念であったリベラル国際主義は「アメリカ第一」の外交政策を掲げるトランプ政権の誕生によって大きな危機にありました。しかし、2021年に誕生したバイデン政権は、そうしたトランプ政権期の外交を否定し、国際主義への復帰を明確化しています。ただし、アメリカ国内における経済格差と政治的分断の広がりの中で「アメリカ第一」の外交政策への支持はいまだ消えたわけではなく、バイデン政権は「中間層のための外交」という国内事情に配慮した外交スローガンも掲げています。こうしたアメリカの外交政策の微妙なバランスが、今後のリベラル国際主義の行方にどう影響するのかを考えていきます。

講師

人間社会科学研究科 助教 趙 テキ

第4回

11/27 (土)

① 13:00~14:20

1930年代日本の「非常時」と議会

現在コロナ禍で議会の在り方・意義が問われています。それでは、近現代史上、政治・社会危機の中の議会がどのようなものであり、また議会をめぐるいかなる議論がなされていたのでしょうか。今回の講座では、1930年代日本の「非常時」における帝国議会（衆議院）の行動及びその改革の模索についてお話し、現在の議会の検討に歴史から有益な経験を提供いたします。

講師

人間社会科学研究科 准教授 湯川 勇人

第5回

11/27 (土)

② 14:30~15:50

危機の時代の日本外交 一外交官・有田八郎の生涯と外交思想

戦前昭和期に4つの内閣で外務大臣を務めた有田八郎の外交思想の変化をたどりながら、危機の時代の日本外交思想について検討していきます。有田は、1909年に外務省に入省し、中国やアメリカで外交官として経験を積んだ後、1927年にアジア局長、1932年には外務次官に就任しました。そして、1936年に広田弘毅内閣の外相に就任すると、その後、第一次近衛内閣、平沼騏一郎内閣、米内光政内閣で外相を歴任します。満州事変勃発直後や日中戦争のさなかに、外務省の中枢で日本外交を牽引した有田は、まさに危機の時代の外交官と言えます。このように、戦前は日本外交の本流にいた一方で、戦後は吉田茂ら保守政党とは距離を置き、中立外交を唱えるようになりました。こうした有田の外交思想の変化の過程を追いながら、戦前戦後の日本外交思想状況を概観していきます。

講師

人間社会科学研究科 助教 小林 悠太

第6回

12/4 (土)

① 13:00~14:20

政治学は大災害をどう論じてきたか

この回では日本政治が度々直面する「危機」として、地震や風水害などの自然災害に関する政治学者の議論を紹介します。大規模災害は、様々な「危機」をもたらします。例えば東日本大震災では、原子力発電所の状況をめぐって刻一刻が争われるなかでリーダーに決断が求められただけでなく、復興過程での人口流出は長期的なコミュニティの衰退を招きました。そこで、2000年代以降の大災害に関する研究成果をもとに、起こりうる複合災害とそれへの備えに関する示唆を考えます。

講 師

人間社会科学研究科 助教 古田拓也

第7回

12/4 (土)

②14:30~15:50

ノモスを超えるポリティクスー 一尾高朝雄とジョン・ロック

政治は法を作り、政治は法を壊すーにもかかわらず、そんな政治を法で抑えようとするのが立憲主義という挑戦です。どう考えても矛盾しているように聞こえますが、このパズルが解けない限り、絶対主義から脱出する希望もありません。私の担当回では、日本の法哲学者である尾高朝雄と、イギリスの思想家ジョン・ロックの二人に注目して、彼らがこの難問にどのように立ち向かったのか、危機において法を乗り越えようとする政治をどうコントロールしようと試みたのか、そしてそれは成功したのか、こういったことを論じていきたいと思えます。

講 師

人間社会科学研究科 教授 永山博之

第8回

12/11 (土)

①13:00~14:20

戒厳：緊急事態における立憲制

戒厳とは、戦争、内乱などの緊急事態において憲法の施行を停止し、行政権や司法権の行使を軍が行うことです。軍事政権（軍が政府を掌握しているケース）がこのようなことを行うのはめずらしくないのですが、民主制、立憲制の政府も、ときにこのような措置をとることがあります。アメリカ、イギリス、フランスなどの過去の例と、戦前期日本の例をとりあげて、秩序と緊急事態の関係、非常時の措置をどのように平常時に戻せるのか、といった問題について考えます。

講座内容に関する
お問い合わせ先

人文社会科学研究科支援 担当：花岡 理沙

電話:082-424-6753 メール: syakai-soumu-kaikei@office.hiroshima-u.ac.jp

4 被爆76年の「ヒロシマ」を考える

概要

広島原爆投下から76年を迎えた今日まで、「あの日」のことや「あの日から」始まったことを伝えるためにいろいろな取り組みがなされてきました。本講座では「あの日」を伝える資料のこと、「あの日」の伝え方のこと、「あの日から」始まった被爆者の医療や調査研究のことなどについて、それらの歴史をまじえてお話しします。

会場

【対面】 広島市南区民文化センター・スタジオ

時間

18:00～19:30

定員 対象

75名
どなたでも

受講料

無料

講師

広島平和記念資料館 前館長 志賀賢治

第1回

11/17 (水)

18:00～19:30

ヒロシマの1945年8月6日を考える

－ 被爆者不在の広島を控えて －

今年で広島平和記念資料館の開館から66年が経ちました。今回は資料館の展示を支える理念と今後の課題を語りながら、ヒロシマで資料館が果たす役割について考えます。併せて、必ずしも平坦とは言えない資料館の歴史を振り返り、これからの資料館のあり方についても考えます。

講師

広島市公文書館 元館長 中川利國

第2回

11/24 (水)

18:00～19:30

1945年9月の広島 原爆報道とカウンター・プロパガンダ ～J.L.ノーランの新著“Atomic Doctors”もふまえて～

1945年9月の広島。原爆が落とされた都市を目指して、英米のジャーナリストと科学者達が交錯する。そもそも来広の意図が異なるこれら3者は、どのような経過をたどったのか。今回は、マンハッタン管区調査団の軍医ノーランのご令孫であるJ.L.ノーラン氏の昨年の新著“Atomic Doctors”を紐解きながら、原爆史への新たな1頁を構想します。

講 師

原爆放射線医科学研究所 助教 久保田明子

第3回

12/1 (水)

18:00~19:30

ヒロシマの医学を考える

原爆は「あの日」1日のものではなく、むしろそこから多くのことが始まりました。被爆地・広島では、多くの人々が様々なことについて、大変長い時間をかけて挑んでいくことになります。今回は、被爆者の医療や調査研究のことについて、原爆放射線医科学研究所が所蔵する資料などを紹介しながらお話しします。

講座内容に関する

お問い合わせ先

霞地区運営支援部 総務グループ（原医研主担当）担当 林 昌代

電話:082-257-5802

メール kasumi-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

5 東広島日本酒学

概要

日本酒関係者による講座を通じて、日本酒に関する幅広い基礎知識を身につけるとともに、それを通して東広島市の地域・文化を知ってもらうことを目的に実施します

会場

オンライン (Zoom)

時間

(第1回のみ) 18:00~19:30
10:00~11:30

定員 対象

300名
どなたでも

受講料

無料

講師

外部講師 (決定次第公表予定)
コーディネーター 大学院統合生命科学研究科 教授 **水沼正樹**

第1回
11/20 (土)
18:00~19:30

日本酒とワインの関係性

同じ醸造酒である日本酒とワインの関係性や比較を交えた解説。

講師

人間社会科学研究科 准教授 **松嶋健**
コーディネーター 大学院統合生命科学研究科 教授 **水沼正樹**

第2回
11/27 (土)
10:00~11:30

米と酒の民俗学／人類学

日本における稲作と酒造りの歴史について概説するとともに、稲魂の循環という世界観がいかに広範囲に日本人の生活や信仰を形作ってきたかについて解説。

講師

外部講師 (決定次第公表予定)
コーディネーター 大学院統合生命科学研究科 教授 **水沼正樹**

第3回
12/4 (土)
10:00~11:30

オンライン見学会

「オンライン」だからこそできる、普段は絶対に立ち入ることが許されない現場をオンラインで見学する。

講座内容に関する お問い合わせ先

大学院統合生命科学研究科 教授 **水沼 正樹**

電話:082-424-7765 メール: mmizu49120@hiroshima-u.ac.jp

6 フィールドから読み解く地域の特徴と文化

概要

この講座では、フィールド（野外）調査を通して読み解ける地域の特徴や文化の変遷、それらの要因や背景について、具体的な事例を挙げながら解説します。地表で見られる事象や文化財を読み解くことに長けた文化財学、人文地理学、自然地理学の専門家が、それぞれの方法やその適用例についてお話しします。

会場

オンライン（Zoom）

時間

13:00～14:30

定員 対象

100名
どなたでも

受講料

無料

講師

人間社会科学研究科 助教 **中村泰朗**

第1回

11/27（土）

13:00～14:30

古建築から地方を読み解く

古建築には地方ならではの独自性すなわち「地方色」が現れます。本講義では古建築の基本的な見方を解説するとともに、中国地方の建物に見られる地方色を考えます。

講師

人間社会科学研究科 准教授 **後藤拓也**

第2回

12/4（土）

13:00～14:30

日本の「村おこし」を地理学から考える

現代日本では農村の過疎化が深刻な問題となり、各地で「村おこし」と呼ばれる地域振興が行われてきました。こういった日本の「村おこし」がどこから発祥し、どのように広がっていったのかを、農業・農村地理学の視点から考えます。

講師

人間社会科学研究科 准教授 **後藤秀昭**

第3回

12/11（土）

13:00～14:30

土砂災害を地理学から考える

平成30年7月豪雨によって発生した土砂災害の概要やその要因について解説します。このような豪雨は今後、増加が予測されています。地理学からその向き合い方について考えます。

講座内容に関する

人文社会科学系支援室(文) 担当：井上 春咲

お問い合わせ先

電話：082-424-6602 メール：bun-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

7 広島とヒロシマ

概要

広島はどのようにヒロシマになったのでしょうか。これまで文学作品、映画、絵画、写真、テレビ番組など様々なメディアでヒロシマは描かれてきました。今回の講義では、広島を訪れる外国人観光客と広島で生きてきた外国人、ヒロシマをめぐる文学テキストとヒロシマを読む地図、日本人と外国人監督によるヒロシマの映画というこれまでにはない新しい視点で、ヒロシマはどう描かれ、ヒロシマをどう見せようとしてきたのか、そしてヒロシマとは何かを考えていきます。

会場

【対面】
広島大学 東千田キャンパス 東千田未来創生センターM304講義室

時間

①12:30~14:00 ②14:15~15:45 ③16:00~17:30

定員 対象

80名
どなたでも

受講料

無料

講師

人間社会科学研究科 教授 **フंक・カロリン**

第1回

11/27 (土)

①12:30~14:00

観光のヒロシマ

近年、日本を訪れる外国人旅行者が急増しています。広島は観光地として大変人気が高く、平和公園と宮島の組み合わせが特に欧米の観光者を惹きつけます。「平和」やpeace tourismのキーワードで外国人旅行者は惹きつけられるようですが、広島はどこに「平和」を感じるのでしょうか。広島市や広島県、観光業者は「平和」をどのように表現しようとしているのでしょうか。講義では広島の「平和」と「観光」の関係を考えていきます。

講師

人間社会科学研究科 准教授 **匹田篤**

第2回

11/27 (土)

②14:15~15:45

古地図から探る、軍都広島形成

明治初期の買物案内記、明治末期、昭和初期の地図などを手掛かりに、軍都広島の形成の過程を探ります。戦前の代表的な産業として、缶詰をとりあげます。交通の要衝として整備が進んだ広島は、やがて兵站の基地として発展していきます。兵站のためには、衣服と食糧を納品する産業が、戦地から戻る兵士たちのためには検疫と病院が必要です。広島はまちぐるみでこの役割に取り組むこととなります。その過程を地図や資料とともに読み解きます。

講師

人間社会科学研究科 准教授 崔真碩

第3回

11/27 (土)

③16:00~17:30

ヒロシマの中の「他者」

ヒロシマには、日本人だけではなく、たくさんの朝鮮人や中国人がいました。それはナガサキにおいても同じです。ヒロシマの朝鮮人に関しては、ヒロシマが生み出した2つの名作マンガ、「はだしのゲン」や「この世界の片隅に」でも表象されています。また、元プロ野球選手の張本勲の存在を通じてよく知られています。なぜ、ヒロシマの中に朝鮮人や中国人がいたのか。被害の実態はいかなるものであったのか。過去の歴史をたどると同時に、その歴史的現在についても触れたいと思います。

講師

人間社会科学研究科 准教授 キツニック・ラウリ

第4回

12/11 (土)

①12:30~14:00

新藤兼人のヒロシマ

広島生まれの映画脚本家・監督新藤兼人が『原爆の子』をはじめ、広島を舞台にした作品を多数手がけました。そんな映画の中で、敗戦の不安から高度経済成長期へ向かおうとする日本が直面していたあらゆる社会問題を、一貫して鋭敏に取り扱い続けました。本講義では、新藤兼人の作品におけるヒロシマの意味・位置を見直しながら、戦後から21世紀にかけてのバラエティに富んだ彼の経歴を辿りたいと思います。

講師

人間社会科学研究科 准教授 柳瀬善治

第5回

12/11 (土)

②14:15~15:45

原爆文学の中のヒロシマ

原爆文学の中に描かれた「広島」像を取り扱います。具体的には峠三吉、原民喜、大田洋子、栗原貞子らの作品を題材とします。他の原爆文学作品やそれらの研究動向もできる限り紹介していきます。

講師

人間社会科学研究科 教授 平手友彦

第6回

12/11 (土)

③16:00~17:30

『ヒロシマ・モナムール』の中の広島とヒロシマ

『ヒロシマ・モナムール』の中でエマニュエル・リヴァはどこを歩いたのでしょか。1958年当時の広島市の地図で当時の口ケ地を特定して広島がヒロシマとして描かれた意味を考えます。映画の中で復興した広島はフランスのヌヴェールの映像と絡み合っって記憶と忘却に揺れていきますが、それは果たしてヒロシマの記憶に結びつくのでしょうか。

講座内容に関する
お問い合わせ先

総合科学系支援室 (学士課程担当)

電話:082-424-7919 メール: souka-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

8

ひろしまバイオデザイン

概要

バイオデザインとは、医療機器の開発に「デザイン思考」の手法を取り入れ、イノベーションをもたらす人財養成プログラムです。約20年前にスタンフォード大学にて確立された後、アメリカをはじめ、インド、イギリス、アイルランド、シンガポールなど、世界中に展開されており、広島大学では、広島県との共同研究講座において、インド・バイオデザイン（SIB）と連携したプログラムとして運営しています。この講座では、インドと連携した広島大学でのバイオデザインの取り組みとバイオデザインによる医療機器開発の概要について紹介します。

会場

オンライン（Zoom）

時間

15:00～16:30

定員
対象

100名

受講料

無料

講師

学術・社会連携室 准教授 木阪智彦 共同研究講座講師 松浦康之

第1回

1/14（金）

①15:00～16:30

インドとバイオデザインについて

バイオデザインの取り組みについて、インドでの活動を中心に紹介します。

第2回

1/28（金）

①15:00～16:30

バイオデザインの概要について

広島大学でのバイオデザインの取り組み及びバイオデザインによる医療機器開発の概要について紹介します。

講座内容に関する
お問い合わせ先

学術・社会連携室バイオデザイン共同研究講座 担当 溝隈

電話:082-257-1992/1555 メール:biodesign@office.hiroshima-u.ac.jp

9

ひろしまバイオデザイン

概要

バイオデザインによる医療機器開発プロセスの一部について、参加者をチームに分け、事前に準備した動画資料等を使って、ワークショップ形式で簡易的に体験してもらいます。

会場

オンライン (Zoom)

時間

13:00~17:00

定員
対象

10名
イノベーション、デザイン思考、バイオデザインあるいは医療機器に興味のある方どなたでも

受講料

4,000円

講師

学術・社会連携室 准教授 木阪智彦 共同研究講座講師 松浦康之

【有料】

第3回

1/31 (月)

②13:00~17:00

バイオデザイン体験ワークショップ

バイオデザインによる医療機器開発プロセスの一部について、ワークショップ形式で簡易的に体験していただきます。
(観察~ニーズの特定・選択~コンセプト創造・選択)

講座内容に関する

学術・社会連携室バイオデザイン共同研究講座 担当 溝隈

お問い合わせ先

電話:082-257-1992/1555 メール:biodesign@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学 学術・社会連携室 公開講座担当

〒739-8511 東広島市鏡山 1 - 3 - 2

E-mail : chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp

Webサイト : <https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/kokaikoza>